

第1空挺団降下訓練始めを見学し感動！ 自衛官を目指すことに間違いはない！

神奈川県厚木市在住 高校2年 堤 零花

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長酒井1海尉）に、第1空挺団降下訓練始め見学に参加した学生から次の感想文が届いた。

平成28年1月10日、私は習志野演習場で行われた第1空挺団降下訓練始めを初めて見学させて頂きました。隊員1人1人の真剣な姿、眼差しは、訓練とは思えないほどの迫力でとても感動しました。私もこの仲間に加わりたいという気持ちがあり一層強まり、この職業を目指すことに間違いはないと改めて感じることができました。見学させて頂いた隊員のように活躍することは、多大な努力と胆力が必要だと思いましたが、この国を、国民を守る仕事を持つ自衛官として働けるよう、私も自身が今すべきことを精一杯行い、努力していかねければならないと深く感じました。今回の見学は、私にとって自身の自衛官への憧れが強まり、この人達のようにになりたいという目標を持ち、貴重な経験となりました。また、もっと色々な場面で活躍する自衛官を見てみたいと思うとともに、私自身が活躍できるように目標に向かって努力したいと感じました。

厚木担当地区主要駅での一斉市街地広報



大和駅付近での活動



海老名駅に集まった協力者

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、1月12日（火）から15日（金）までの4日間、協力団体の支援を受け、本厚木、海老名及び大和駅周辺で市街地広報を実施した。

本活動では、入隊者獲得の厳しさが増す「自衛官候補生」をPRし、2月の受験者を獲得するためのリーフレットを配布した。

期間中は、厚木募集案内所員の「自衛官候補生受験者を獲得する」という熱い想いに呼応し、募集相談員、厚木、大和及び海老名各市防衛議員連盟から多数の協力者を得て、毎日5〜10人の大人数で集中的に広報活動を行うことができた。

市街地広報中を通りかかった人からは「孫に勧めてみるよ」や「寒い中地道な活動お疲れ様です」など肯定的な意見が聞かれ、中には「将来自衛隊に入りたいです」とわざわざ自分からリーフレットをもらいにくる者もいた。また海老名に新しくオープンした商業施設方面出口での活動では、10分で150枚ものリーフレットが配布でき、新たな市街地広報の可能性を見出すことができた。

厚木募集案内所は、「今後も、募集の現状を協力者に発信していくことで積極的に協力を得るとともに、市街地広報等地道な活動を通し、志願者を獲得し募集目標の達成を期す」としている。

東海大学学生（藤中ゼミ）の厚木航空基地見学支援



基地概要説明



航空機見学



体験喫食



消防車（地上救難）見学

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、1月15日（金）、東海大学の法学部ゼミ生11名に対して厚木航空基地研修を支援した。

当初、基地資料館を研修し、海上自衛隊の概要、厚木航空基地隊の沿革概要と活動状況について説明を受け、その後、航空機P-1の航空機見学などを行い、航空機運航のためのさまざまな施設・計器類を間近に見て、厚木航空基地隊の役割や必要性について認識を深めていた。体験喫食では、金曜日の定番メニューであるカレーに舌鼓を打ちながら、テーブルに置かれた献立やカロリー表示を見て、栄養管理に支えられた海上自衛隊員の活動の源である食事のすばらしさを感じていた。午後からは、管制塔やリーダーサイトの見学を行い、本研修を修了した。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、近い将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、広報活動に力を注ぎたい」としている。